



発行所： 保育総合研究会事務局 H26・12  
茨城県東茨城郡茨城町上飯沼1276-1 飯沼保育園内  
TEL029-292-6868 FAX 029-292-3831  
発行人： 会長 梶 沢 幸 苗

平成26年10月7日(火)午後1時から5時までアルカディア市ヶ谷私学会館において第49回定例会が行われた。

## 基調報告

環太平洋乳児教育学会ポスター発表報告  
〈報告者〉第2聖心保育園 永田 久史



画像で環太平洋乳児教育学会の様子を説明後、バリ島施設見学の報告があった。

〈施設見学〉

(1) AnaK Emas DayCare (日本の宗教法人のような施設)  
子どもの人数に対しての教員数は多く手厚い。この国では、インドネシア語とバリ語、英語の3つで文字を表しているカードがあった。教材もカラフルなものが多く整理整頓しており、教育に対する熱心な姿勢が伺えた。

(2) Green School

シュタイナー教育をもとに自然環境と社会生活をどう共存させるかを学び、幼児から高等学校までの子どもの自主性や想像力、次世代のリーダーを育む、今注目のエコスクール。

〈環太平洋幼児教育学会に参加して〉

2014年8月8日～10日の3日間、インドネシアバリ島にて行われたPECERA(環太平洋乳児教育学会)に参加し、保育ドキュメンテーションについてポスター発表をしてきた。これは昨年「保育科学研究第4巻」に掲載した「安全・安心—地域と子どもの環境」の中から全国各地に色水遊びのドキュメンテーションに対するアンケートを実施した部分を中心にまとめたものである。



## 特別講演

スウェーデンの福祉の状況について

〈講師〉前・駐スウェーデン日本国全権大使 渡辺 芳樹氏



—変容する福祉国家スウェーデンの兆戦—

### 1. スウェーデン今昔

- ・何故、スウェーデンモデルに対する欧米諸国からの高い評価がでてきたのか  
「正常」で持続可能な資本主義福祉国家の活力
- ・今からまた何を学ぶか  
次世代志向の人的投資、未来志向のIT社会活用投資

2. 改革の荒波を経たスウェーデン
- ・増税による政策実現から減税による個々人の可処分所得増大(政治から経済)という路線への転換

3. 社会保障の動向と軸足の転換
- ・就労第一主義と高失業率の共存
  - ・失業者・病休者の扱いの厳しさ
  - ・出産離職とは無縁な働き方と子育て世代の活力支援



4. 情報活用社会と個々人の強靭さ
- ・過激なまでの個人主義と社会への強い信頼
  - ・自立と平等と他社の権利を尊重する我慢強さ

5. 現代スウェーデンに学び考える
- ・高齢者福祉とのバランスも図りつつ、政策の重点を子どもや子育てをしながら働く世代、障害者への手厚い人的投資に移す
  - ・医療、介護、生活という個人情報の特徴に正面から向き合い克服し、ITの社会的活用による改革を実行する
  - ・世界が注目する日本の少子高齢化、人口減少社会の克服の道筋

# お知らせ

～次回～

年次大会

平成27年2月23日(月)13:00～

24日(火)12:00まで

アルカディア市ヶ谷私学会館

教育保育サポートブック研修会

平成27年2月24日(火)13:00～17:00

アルカディア市ヶ谷私学会館

皆様の参加お待ちしております。

